

あなたと議会

特集

議会閉会中の
継続調査を報告します。



2016
193号
11月25日発行



市政を問う
議会からあなたへ



ソバ畑(中粟野)

市政を問う

ふるさと納税について伺う



第4回定例会で12人が登壇
鹿沼市政について質問をしました。



質問

ふるさとかぬま寄付金について、平成27年度の実績と今後の対応を伺う。

答 井(市長)

高額寄付者に対応する返礼品の品ぞろえ、積極的な周知活動等、市の名産品等を広くPRし、増収を図っていきます。

ふるさと納税は、平成27年度からインターネットサイトに申込みフォームを開設するなど、手軽に申込みができる環境を整備したことにより、受入件数で796件、受入金額では1,205万4,061円の成果を上げま

した。本市の寄付受入額は増加をしていますが、市民が他の自治体ふるさと納税を行うことで市民税額が減収となり、差し引き約240万円の赤字が生じています。本年度、人気商品であるイチゴに新品種スカイベリーを追加する等、現在はその品ぞろえを78種類100品目まで拡大するなど、更に魅力ある返礼品の充実に取り組んでいます。

今後も、高額寄付者に対応する返礼品の品ぞろえや、より多くの方に選んでもらえるよう魅力ある返礼品の充実を図るとともに、積極的な周知活動を行い、本市の名産品等を広くPRする

ことふるさと納税の増収を図っていきます。



子育て世代包括支援センター事業について伺う



質問
事業展開前と後の違い、少子化対策への効果について伺う。
答 弁（保健福祉部長）
切れ目なく対応することができ、育児世代の保護者が、大きな安心感を得られるものと考えます。
平成29年度より妊娠届を受領し相談できる場所を本庁と市民情報センターの2か所に置き、保健師または助産師を専任で本庁に1名と健康課の保健師が兼務で体制を整備する考えであります。現在はこども家庭課が中心となり妊娠届出を受けているため、情報を把握するのに時間が

かかるほか、面談できる件数が少なく、妊娠中の不安や産後うつなどに十分対応できていない状況です。今後は妊娠届出当初から保健師や助産師が関係性を築くことで、母子保健や育児に関する悩み等に切れ目なく対応することができ、育児世代の保護者が大きな安心感を得られるものと考えます。
また、多くの方が周産期などに大きな安心感を得られることで、その後も安心して子育てすることができ、本市に住んで子育てする喜びにつながるものと考えます。現実には、制度の先進地であるフィンランドでは、出



子育て世代包括支援センターとは
妊娠期・出産直後・子育て期の各ステージを通じて、地域の関係機関が連携して切れ目ない支援を実施できるよう、必要な情報を共有し、自らの支援を行い、または関係機関のコーディネートを行います。

産数の増加と虐待の減少につながっており、本市もその効果を期待しているところです。

地籍調査について伺う



質問
地籍調査の①今年度実施地区とスケジュール②対象地区の住民に対する周知と住民の理解について伺う。
答 弁（市長）
10月中旬から一筆ごとの土地についての調査・測量に着手する予定です。
①ですが、境界や基準点が正確である土地区画整理実施済み地区に隣接した人口集中地区の中から土地取引が多く、経済効果が高いと思われる緑町3丁目の一部と幸町2丁目の一部0.1平方キロメートルを実施します。今年度は10月中旬から一筆ごと

の土地についての調査・測量に着手する予定です。
②については、今年4月号の広報かぬま、市のホームページに今年度から地籍調査に着手する記事を掲載し、5月下旬に対象地区や隣接する自治会長へ、地籍調査の概要、対象地区、今後のスケジュール等について説明しました。対象地区の住民へは、8月号の広報かぬま、市のホームページ、地区の回覧により地籍調査を行う旨の周知を行いました。9月下旬から10月上旬にかけて日曜日を含め、5回説明会を開催する予定であり、そこで地籍調査に対する必要性



の理解や協力が得られるよう努めていきます。

東武線西側の整備について伺う



質 問

地域資源（岩山・石山・富士山と富士山公園・高鳥屋山と出会の森オートキャンプ場）の活用と整備について伺う。

答 弁（経済部長）

観光資源としての活用を検討し、施設については長寿命化計画に基づき維持管理をしていきます。

今後の活用・整備について、岩山は、ほとんどが個人所有地のため、地権者の同意と共に、地域全体で観光資源としての意識を共有することが必要と考えます。また、石山については、ストーリー性のある地域資源で

あることは認識していますが、岩山同様、土地所有者の同意と共に、近隣住民等のご理解が前提となります。どちらの地域資源も条件を整えば、観光資源としての活用を検討していきたいと考えます。

次に、富士山と富士山公園について、今年度は、栃木県立鹿沼商工高等学校の生徒による清掃や花壇の整備など、ボランティアによる公園の美化活動に取り組んでいただいています。今後は、自然を活かした園路を巡るウォーキングや自然観察など、憩いと安らぎの場として活用していきます。また、出会い

の森総合公園オートキャンプ場と高鳥屋山ハイキングコースは、出会い橋と林道愛宕線により結ばれており、キャンプを楽しみながら、森林のハイキングも出来るゾーンとなっているため、キャンプ場利用者もとり、市民にもハイキングコースをPRし、相乗効果による利用客の増加を図っていきたくと考えています。どちらの施設も整備は完了しているため、公園施設の長寿命化計画に基づき施設を維持管理していきます。



公共建築物等の耐震補強及び改修工事について伺う



質 問

北小学校の耐震補強及び改修工事について、昨年9月に現役続行の方針を固めたが、1年経った現在の進捗状況を伺う。

答 弁（市長）

今年度策定している「北小学校校舎耐震改修工事基本計画」をもとに、改修方針を検討していきます。

北小学校木造校舎の耐震補強の進捗状況について、平成26年度に耐震診断を実施した結果、耐震補強が必要と診断されたことから、「北小学校木造校舎耐震補強技術検討会」で検討を加え、大規模木造校舎の耐震補強

が可能であることが明らかになりました。

検討会では、耐震補強だけでなく、「校舎として使い続けること」「現状の形をできるだけ残していくこと」「児童が過ごしやすい校舎であること」の3項目を基本方針とし、歴史的な価値を残しつつ、技術的、法的、費用的な検討も併せて行っています。

今年度は、「北小学校校舎耐震改修工事基本計画策定業務」を委託し、耐震補強と長期的な校舎の使用が出来るような基本計画を策定しているところで、今後はその基本計画をもとに、改修方針を検討していきます。



▲北小学校

島田 一衛 議員

阿部 秀実 議員

子育て行政について伺う



質 問

休日夜間急患診療所について、平日の夜間診療（月・水・金曜日）の時間延長と開設日の増（毎日）について伺う。

答 弁（保健福祉部長）
今後医師会と相談していきたく考えます。

診療所の開設日の診療は上都賀郡市医師会に委託しており、平成27年度は31名の医師により、日曜祝日の昼間70日、平日の夜間142日、日曜祝日の夜間72日を担当し、医師1人当たり年間8回から9回の当番があります。開設日を増やすと、医師の負担が更に増すことになり、現時点

では医師会の対応が厳しい状況にあります。地域医療の重要性は認識していますが体制の問題もあるので、今後医師会と相談していきたく考えます。
また、平日の夜間の診療時間は、現在午後7時から10時まで、受付時間は午後9時30分までとされています。今後は受付時間を開設時間と合わせるよう努力していきます。なお、火・木・土曜日は病院群輪番制病院である上都賀総合病院・御殿山病院・西方病院を利用していただいています。今後も体制整備に向けた改善に努力していきます。



▲休日夜間急患診療所

鹿沼市ごみステーション問題について伺う



質 問

ごみステーション設置基準について伺う。

答 弁（環境部長）
住宅密集地に新たなごみステーションを設置する場合、25世帯以上を基準としています。

ごみステーションの設置については、「鹿沼市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則」や「鹿沼市一般廃棄物処理要綱」及び「鹿沼市ごみステーション設置基準」に定められています。その中にある利用世帯数の基準について、住宅密集地に新たなごみステーションを設

置する場合、25世帯以上としています。平成27年度末のごみステーションの数は2,740か所、毎年少しずつ増えている状況にあります。見直しについては、少子高齢化や核家族化による人口や世帯数の動向及び地域の状況をみながら、今後検討していきたく考えます。

ごみステーションは、利用者による自主管理を基本としており、費用負担や設置場所など利用者で調整をいただいています。今後も引き続き利用者による管理をお願いしたいと考えていますが、トラブルの際には清掃課へ相談いただき、より

良い解決方法を個別に検討していきたくと思います。

現在ごみステーションの新設や更新に対する補助は行っていませんが、既存のステーション2か所以上を集約する自治会に対しては補助率2分の1、上限7万円が助成をしています。利用世帯数が減少している地区は、ぜひご利用ください。



鹿沼地区休日夜間急患診療所の改善について伺う



質 問

インフルエンザ流行時の駐車場対策について①受付専用駐車場の確保②問診票のダウンロード③当日受付のウェブ予約システム導入の可能性について伺う。

答 弁(保健福祉部長) ー より利用しやすいよう、方策を具体的に検討していきたいと考えます。

①インフルエンザ等の感染症流行時は、事前に臨時駐車場として近隣のクリニック駐車場を借用しており、その交通整理や案内を公益社団法人シルバー人材センターに委託し混雑の解消に努めています。更に、ホーム

ページや広報、チラシでも流行時の混雑状況などを周知しているところですが、今後は診療所に行かなくても当日の順番が取れるような順番待ちシステムの仕組みを検討し、受付専用駐車場を確保しなくて済むようにしていきたいと考えます。

②受付時の負担を軽減するためにも、問診票をホームページからダウンロードできるように、早急に対応していきます。

③順番待ち検索システムは、駐車場不足対策として平成27年4月から導入しており、現在のシステムを導入しているのは、栃木県では宇都宮市と鹿沼市の

2市です。今後は、より利用しやすいよう、ウェブ予約の活用や診療受診の円滑化など、その方策を具体的に検討していきたいと考えます。



平和行政の推進について伺う



質 問

平和都市宣言にふさわしい平和行政の推進について伺う。

答 弁(市長) ー 関係機関等と連携しながら、平和の尊さを伝える事業を展開していきます。

特に若い世代に戦争の悲惨さ、平和の尊さを学んでもらう必要があると考えています。本市では、平成9年から市内の中学生を広島平和記念式典に派遣をしています。この事業は、中学生たちが広島を直接見て、肌で感じたことをしっかり学校や地域で伝えていくことが最も重要です。そのため、広報かぬまや各

学校での事業の報告をするほか、今年度は新たに実際の派遣の様子を動画で配信する予定です。最近、市民団体等においても戦争の記憶を風化させない取組みが行われており、本市も連携を視野に入れながら、引き続きより多くの市民に平和の尊さを伝えていきたいと考えます。

戦後71年が過ぎ、戦争を知らない世代が大多数を占める中で、戦争の悲惨さや平和の尊さを次の世代に伝えていくことは極めて重要です。今後も関係機関や団体と連携しながら、戦争体験を語り継ぐ場の設定も含めて、平和の尊さを伝える事業を展開

平和都市宣言

豊かな水と緑に恵まれた鹿沼市は、先人が築いた誇れる歴史と伝統のあるまちです。私たちは、この自然や歴史や伝統を後世の人々に伝えなければなりません。私たちは、豊かな自然や伝統は、世界の平和なくして守れないことを、尊い犠牲を払って学びました。しかし、今なお世界の各地

で、戦争によってかけがえない多くの命が失われています。私たち鹿沼市民は、非核三原則を堅持し、日本国憲法の本質である世界の恒久平和を達成するため努力することを決意し、ここに「平和都市」を宣言します。

平成7年8月15日

鯨原 一男 議員

国登録有形文化財（建造物）
について伺う



質 問
旧栗野中学校校舎について伺う。
答 弁（教育次長）
国登録有形文化財を契機に観光素材として有効活用していきます。

市では平成27年度から国登録有形文化財に向けた調査を開始し、本年1月25日に文化庁に登録申請を行いました。その後、6月に国の文化審議会に諮問がなされ、これを受け7月15日開催の文化審議会において審議・議決され、新たに登録するよう文部科学大臣に答申が行われました。正式に国登録有形文化財

に決定するのは、官報告示を経てからなるため、今年度登録になることはほぼ確実ですが、現時点でその日時は未定です。

本校舎は、昨年度、国の地方創生先行型交付金を活用し、フィルムコミッション事業などに活用できるよう整備を進めてきました。維持管理は、本校舎と特別教室棟、屋外トイレを一体で行っていきます。本校舎は映画を初めドラマのロケ地として活用されており、メディアにより地域の魅力を広く全国にアピールし、本市のイメージアップと地域振興に役立っています。登録有形文化財になることを契



▲旧栗野中学校

機に今後もロケ地としての活用やロケ地めぐり、木のまちツアーなどの観光素材として有効活用していきます。

谷中 恵子 議員

地域スポーツ環境の
整備について伺う



質 問
学校開放事業について伺う。
答 弁（教育次長）
利用に支障がないよう、早急に修理や修繕を行っています。

学校開放事業における平成27年度の屋内運動場の登録団体数は154団体、登録人数は2,754人、利用延べ人数は6万877人であり、屋外運動場の登録団体は53団体、登録人数は1,280人、利用延べ人数は1万8,753人でした。登録団体からの要望や苦情では、屋内運動場の照明の修繕やバレーボールの支柱やネットの修繕が多数を占

めています。施設の備品の更新状況については、管理指導員や利用者から連絡をいただいた際には、利用に支障がないよう、早急に修理や修繕を行っています。

屋内運動場の雨漏りの原因は老朽化した屋根などの防水機能の劣化のほか、壁の亀裂、サッシのシーリング（防水材料）の劣化、といの詰まりからの越水など様々な原因があり、苦情の内容は照明の交換が一番多く、2年間で10件です。次にバレーボールネットの修繕が2年間で6件、支柱の修繕が5件、そのほかにはインディアアカ用ネット



の設置、バスケットゴールや窓ガラスの修繕、体育館入口の照明の修繕などが主なものです。

図書館改革について伺う



質問

Wi-Fi導入の進捗状況及び座席と学習スペースの充実について伺う。

答 弁 (教育次長)

Wi-Fiについて、現時点での導入の必要性は低いと考えています。

Wi-Fi導入の進捗状況ですが、図書館の運営に関し、官庁の諮問に応じ意見を述べる機関である図書館協議会が本年2月に開催された際、Wi-Fi導入について意見を求めたところ、委員からは「必要ない」あるいは「制限すべき」という、導入に対して慎重な意見が大半を占めました。

た。加えて、セキュリティの面から、情報を読み取られるなど様々なリスクが懸念されているところもあり、これらを考慮すると、現時点での導入の必要性は低いと考えています。むしろ、

図書館本来の機能の充実を図ることで、利用者サービスに努め、今後も市民からの要望や他市の状況などを精査しながら、引き続き協議検討していく必要があると認識しています。

本館では、本年5月10日から平日も2階の読書室兼展示室を学習室として開放しており、環境の整備に努めています。現在の座席数について、利用者から

の増設要望はありませんが、来館者が快適に利用できるよう、改善を検討していきます。



▲図書館

新・委員を選任しました。

9月26日議会最終日に議会運営委員会、各常任委員会の改選を行い、記載のとおり決定しました。

議会運営委員会



委員長
関口 正一



副委員長
鰐原 一男

委員
市田 登毅
大貫 敏雄
鈴木 恵子
谷中 英之
湯澤 靖弘
増淵 大貴
武男

総務常任委員会



委員長
小島 実



副委員長
大島 久幸

委員
島田 一衛
佐藤 誠
横尾 武男
橋本 正男

環境経済常任委員会



委員長
増淵 靖弘



副委員長
湯澤 英之

委員
石川 さやか
阿部 秀実
加藤 美智子
津久 健吉

文教民生常任委員会



委員長
谷中 恵子



副委員長
鰐原 一男

委員
市田 登毅
荒井 正行
関口 正男
大貫 武男

建設水道常任委員会



委員長
大貫 毅



副委員長
館野 裕昭

委員
鈴木 毅
鈴木 敏雄
赤坂 日出男
船生 哲夫

平成28年第4回 9月定例会の結果

定例会で人事等が決まりました。

人事

(敬称略)

■本会議で人事が決まりました。
(議案第71号・72号・73号)

人権擁護委員

大塚 亓久 (おおつかかずひさ・口栗野)

鹿沼市教育委員会委員

鈴木 泉 (すずきいずみ・坂田山)

佐川 徹三 (さがわてつぞう・寺町)

▶用語解説「教育委員会委員」

教育においては政治的中立性と安定性の確保が強く要求されるため、地方公共団体の長から独立した行政機関として教育委員会が設置され、教育についての方針や施策は教育委員会の合議で決定される。委員は人格が高潔で教育・学術及び文化に関し識見を有する者のうちから議会の同意を得て市長が任命する。

請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情とは、市政全般について議会に実情の善処を要望することです。

そのうち議員の紹介があるものは請願になります。

A 4版、署名または記名押印して提出してください。

※注意事項

- ①鹿沼市の権限内の事務に限ります。
- ②要旨や理由は簡潔に記入してください。
- ③道路・水路等は地図または略図を添付してください。

請 願 書	件名 ○○○○について 要旨 ○○○○の△△に関する ××を要望します。 理由 □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□
紹介議員 今宮 三男 氏 名 鹿沼 太郎	平成○年○月○日 鹿沼市議会議長様 請願人代表 鹿沼市○○町○○番地○ 鹿沼 太郎 印

注目議案の解説 クローズアップ

鹿沼市や私たちの暮らしに関係することが議会で決定しました！

～人情味あふれる絆のまち～

鹿沼市の決算を公表します

■認定第2～10号 平成27年度鹿沼市一般会計歳入歳出決算の認定について
平成27年度一般会計予算は、予算総額467億6,921万7,277円となりました。これに対して決算額は、歳入445億7,993万4,449円、歳出428億555万8,827円、歳入歳出差引額17億7,437万5,622円であり、実質収支で11億2,497万1,382円の黒字決算となりました。予算の執行に当たり、引き続き厳しい財政の実態を認識し、極力、経費節減に努めながら4年目を迎えた第6次鹿沼市総合計画の着実な推進を目指し、議決された予算の目的達成を図るよう努めた結果、行政需要に応え得る執行を成し遂げたと考えます。

また、各会計とも実質収支において黒字決算となり、行政目的を達し得たものと考えます。



～市民の安全で安心な暮らしの実現に向けて～

鹿沼市空家等対策の推進に関する条例を制定します

■議案第69号 鹿沼市空家等対策の推進に関する条例の制定について

空家等対策の推進に関する特別措置法に定めるもののほか、空家化の防止、危険な空家等による被害を回避するための措置等に関し必要な事項を定めることにより、本市の空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって市民の安全で安心な暮らしの実現に寄与するためのものです。

※条例の詳細については、市ホームページ「空き家等の適正管理」をご覧ください。



提出議案について
議員の賛否を公表

認定9件、市長提出議案14件、議員提出議案3件が提出されました。
議員数24名、表決参加議員数23名（議長は表決には加わりません。）

賛否の分かれた議案

議案72 鹿沼市教育委員会委員の任命について
議案73 鹿沼市教育委員会委員の任命について
(9ページをご覧ください。)

賛成

- 【公明党】 荒井正行・鈴木敏雄
- 【自民党】 鈴木 毅・市田 登・谷中恵子・津久井健吉・増淵靖弘・鯨原一男・赤坂日出男・橋本正男
- 【経世会】 館野裕昭・小島 実・湯澤英之・関口正一
- 【民進党】 島田一衛・大貫 毅
- 【無所属市民クラブ】 加藤美智子・大島久幸・大貫武男・船生哲夫
- 【日本共産党】 阿部秀実
- 【無所属】 石川さやか

不参加

- 【無所属】 佐藤 誠



認定3 平成27年度鹿沼市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
(9ページをご覧ください。)

賛成

- 【公明党】 荒井正行・鈴木敏雄
- 【自民党】 市田 登・谷中恵子・津久井健吉・増淵靖弘・赤坂日出男・橋本正男
- 【経世会】 館野裕昭・小島 実・湯澤英之・関口正一
- 【民進党】 島田一衛・大貫 毅
- 【無所属市民クラブ】 加藤美智子・大島久幸・大貫武男・船生哲夫
- 【無所属】 石川さやか

反対

- 【自民党】 鈴木 毅・鯨原一男
- 【日本共産党】 阿部秀実

不参加

- 【無所属】 佐藤 誠



全議員が賛成した議案(可決)

人事

議案71 人権擁護委員候補者の推薦
(9ページをご覧ください。)

議員提出議案

議員案4 決算特別委員会の設置について
平成27年度鹿沼市一般会計及び特別会計の決算を審査するため特別委員会を設置しました。

議員案5 各常任委員会への特定調査事件付託
各常任委員会（総務・環境経済・文教民生・建設水道）に対し、特定事件について議会閉会中の調査を付託しました。

議員案6 議会運営委員会への調査事件付託
議会運営委員会に特定事件①付託調査事項②議会閉会中の継続審査について、閉会中の調査を付託しました。



決算

認定2、4～10 平成27年度鹿沼市一般会計歳入歳出決算の認定など決算の認定8件
(9ページをご覧ください。)

平成28年度補正予算

議案60 平成28年度鹿沼市一般会計補正予算(第1号)
予算総額を397億6,754万3千円とします。

議案61 平成28年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
予算総額を133億2,512万7千円とします。

議案62 平成28年度鹿沼市公共下水道事業費特別会計補正予算(第1号)
繰越金の増額を計上し繰入金を減額して、歳入予算を更正します。

議案63 平成28年度鹿沼市簡易水道事業費特別会計補正予算(第1号)
予算総額を2億7,034万8千円とします。

議案64 平成28年度鹿沼市公設地方卸売市場事業費特別会計補正予算(第1号)
予算総額を2,161万1千円とします。

議案65 平成28年度鹿沼市農業集落排水事業費特別会計補正予算(第1号)
繰越金の増額を計上し繰入金を減額して、歳入予算を更正します。

議案66 平成28年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算(第1号)
予算総額を75億69万5千円とします。

議案67 平成28年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
予算総額を9億7,642万7千円とします。

議案68 平成28年度鹿沼市財産区管理会特別会計補正予算(第1号)
繰越金の増額を計上し繰入金を減額して、歳入予算を更正します。

条例制定

議案69 鹿沼市空家等対策の推進に関する条例の制定
(9ページをご覧ください。)

条例の一部改正

議案70 鹿沼市立学校の設置に関する条例の一部改正
平成29年度3月31日をもって上粕尾小学校を閉校し、粕尾小学校に統合するためのものです。

賛成

- 【公明党】 荒井正行・鈴木敏雄
- 【自民党】 鈴木 毅・市田 登・谷中恵子・津久井健吉・増淵靖弘・赤坂日出男・橋本正男
- 【経世会】 館野裕昭・小島 実・湯澤英之・関口正一
- 【民進党】 島田一衛・大貫 毅
- 【無所属市民クラブ】 加藤美智子・大島久幸・大貫武男・船生哲夫
- 【日本共産党】 阿部秀実
- 【無所属】 石川さやか
- 【無所属】 佐藤 誠

不参加

- 【自民党】 鯨原一男



特集

議会閉会中の継続調査がまとまりました 常任委員会の活動の成果をご報告します。

昨年12月に議会閉会中の継続調査付託を議決し、調査テーマにそって、現地調査、意見聴取、討議を重ねてきました。このほど4つの常任委員会が取り組んできた研究テーマがまとまり、その成果を議長に報告しました。また、市への提言として9月26日の本会議において、各常任委員長が報告をしました。

総務常任委員会

○地域防災力の強化について

自然災害に対して、地域防災力の強化を図り、災害を未然に防ぐ、被害を最小限に留めていくかを調査研究してきました。市民の安全安心を確保するための防災・危機対策について、5点提言します。

- 提言1 消防職員の増員について、女性職員の登用や中途採用を取り入れ、平成33年度までに10名増員すること
- 提言2 消防訓練塔の整備について、多様な救助訓練の必要性から、改築に向けた計画を早急に策定し改善すること
- 提言3 避難所の充実について、雨漏り箇所の修繕やトイレを洋式トイレに改修し、避難所環境を改善すること
- 提言4 専門的な知識・技術を有する地域防災マネージャーを配置し、防災体制を強化すること
- 提言5 重機所有者との災害時援助協定の締結や災害ボランティアへの支援(燃料代等実費分)を検討すること

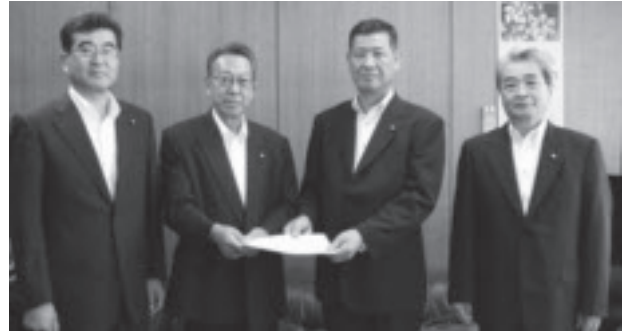


環境経済常任委員会

○地域経済の活性化・発展について

地場産業の現状を知るため、市内の商工団体や農業団体との意見交換会を実施し、4点提言します。

- 提言1 地域資源の発掘と再発見について、各部署の横の連携強化を進めること
- 提言2 異業種連携について、より一層の連携を強化するとともに、さらなる支援をしていくこと
- 提言3 販路の確保、拡大と新たな顧客ニーズの把握について、直接的な対話を通じ、積極的な指導、助言をしていくこと
- 提言4 働き手の確保、担い手の育成について、新規就農者と面談し、ニーズを聴き、円滑な準備を積極的にサポートすること



文教民生常任委員会

○学力の向上について

学力向上の必要性の共通認識を土台として、担当部局との意見交換会を実施し、2点提言します。

- 提言1 国県が実施する「全国学力・学習状況調査」「とちぎっ子学習状況調査」を目標と定義し、結果を公表し、それを支援する教育行政の諸課題や情報の積極的な開示をすること
- 提言2 科学的根拠と実績に基づいた全国的な先進的な事例の調査研究と模倣と導入のための予算と人員を確保すること



建設水道常任委員会

○治水対策について

関東・東北豪雨の災害現地視察を実施し、担当部局を交えて委員会活動を行い調査した結果を踏まえ2点提言します。

- 提言1 平成26年2月に関東地方初の登録となった「小藪川上流域市街地安心プラン(100mm/h安心プラン)」を推進させ、早期に小藪川流域の治水対策を進めること
- 提言2 浸水常襲地域の解消のための対策を加速化すること



議会からの お知らせ

第7次鹿沼市総合計画に対する提言書を提出しました

昨年、12月に平成29年度から始まる新総合計画の策定にあたり議員自ら提言するため総合計画検討特別委員会を設置しました。

執行部からのヒアリングを実施し「第6次鹿沼市総合計画」の取り組み状況の把握、検証を行い、議論を重ね、その検討結果を提言書にまとめました。

9月26日本会議終了後、提言の趣旨を十分に理解検討いただき「第7次鹿沼市総合計画」に反映していただくことを願って、市長へ提出しました。

- 提言1 協働のまちづくりの推進
- 提言2 人口減少社会に対応した行財政運営
- 提言3 子育て支援の充実
- 提言4 教育環境の充実
- 提言5 社会変化に対応した教育の推進
- 提言6 子どもの安全対策の充実
- 提言7 多様な教育ニーズへの対応と支援
- 提言8 スポーツの振興
- 提言9 産業の振興
- 提言10 花木センターのパワーアップ
- 提言11 林業の振興
- 提言12 公共施設整備の方向性



正副議長から市長へ提出

思川開発事業（南摩ダム）建設予定地の現地視察を行いました

9月26日に建設予定地（上南摩町）の現地視察を行い、事業主体の独立行政法人水資源機構から事業説明を受けました。

思川開発事業（南摩ダム）につきましては、平成21年に本体工事への着工が凍結されて以降、国と水資源機構が事業の必要性、計画内容の点検、代替案の可能性等の検証を行ってききましたが、本年8月25日に国から「事業を継続する」という方針が示され、事業がすすめられることになりました。



議会カレンダー ～議会を傍聴しませんか～

11月	12月						
月	火	水	木	金	土	日	
11/21	22	23	24	25	26	27	
10:00 議会運営委員会							
28	29	30	12/1	2	3	4	
10:00 本会議(第1日) 提出議案の説明							
5	6	7	8	9	10	11	
		9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第4日) 議案質疑・一般質問			
12	13	14	15	16	17	18	
		10:00 総務常任委員会 環境経済常任委員会	10:00 文教民生常任委員会 建設水道常任委員会				
19	20	21	22	23	24	25	
10:00 本会議(第5日) 採決							

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)

表紙の写真は

ふるさと純白に!!
秋の風物詩「蕎麦(ソバ)畑」

ソバ畑の白い花が一面に咲き誇っています。このふるさと純白の風景は、本市の秋の風物詩のひとつであり、人々の目を楽しませてくれます。

ソバの花(タデ科) 花言葉：懐かしい思い出

